

京都ノートルダム女子大学と光泉高等学校との高大連携に関する協定を締結

2018年（平成30）年5月29日（火）、京都ノートルダム女子大学（京都市左京区、学長 眞田 雅子）と光泉高等学校（滋賀県草津市、校長 吉田 眞人）は、京都ノートルダム女子大学にて、高大連携に関する協定締結式を執り行いました。

本協定では、カトリック精神に基づく学校相互の教育活動の連携・協力を推進し、相互の教育の充実、学生及び生徒の資質向上を図るため、教育に関する情報交換をはじめ、大学入学前教育や本学教員による出張授業の実施、大学の授業等への高校生の受け入れ、推薦入学の促進、授業料減免等、両校にとって相互に有益な連携事業を行うことを目的としています。

光泉高等学校は、学校法人聖パウロ学園により滋賀県草津市に1988年に開校された私立カトリック系高等学校（共学）で、国際人の育成にも力を入れておられます。

協定書の締結式にあたっては、京都ノートルダム女子大学の眞田学長と光泉高等学校の吉田校長が挨拶を交換した後、協定書に署名・調印が行われ、今後の高大連携事業の可能性について懇談を行いました。

